

呉市農水産業振興ビジョンの見直しについて

1 ビジョン見直しの内容

(1) ビジョン見直しの趣旨

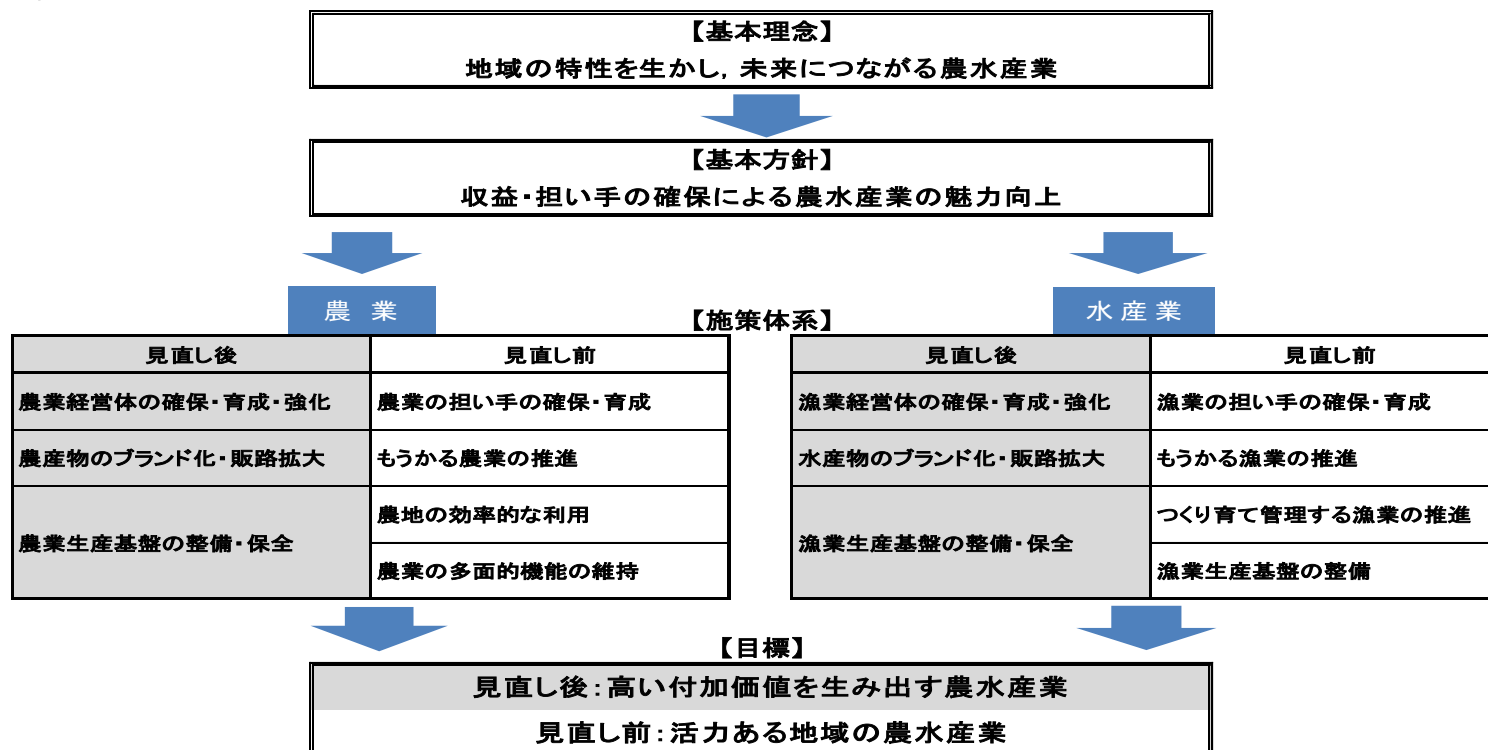
令和7年度を最終目標年度とする「呉市農水産業振興ビジョン」（以下「ビジョン」といいます。）を平成28年に策定して、10年後の農水産業の方向性を示し、活力ある地域の農水産業を目指して各種施策を展開してきました。一方で、現在の農水産業を取り巻く情勢は、農・漁業者の高齢化などによる厳しい経営環境に加え、近年の自然災害の脅威など、今後、より一層厳しい状況が予想されます。こういった状況を踏まえ、令和2年度で計画期間の前半が経過したことから、これまでの取組の振り返りを行い、ビジョンの見直しを行います。

(2) 見直しの主な内容

令和3年3月に策定した「第5次呉市長期総合計画」を踏まえ、ビジョンの目標を『高い付加価値を生み出す農水産業』とするとともに、同計画に即した施策体系及び数値目標の見直しを行い、後半の5年間に各種施策を展開していきます。

2 ビジョンの基本理念等

(1) 基本理念，基本方針等



(2) 計画期間前半の振り返り

農業

農業経営体の確保・育成・強化	実績：10人の新規就農者と26人の多様な担い手の確保・育成 酒米への品目転換による収益性の向上 課題：更なる多様な担い手の確保・育成・強化
農産物のブランド化・販路拡大	実績：1万3千本のレモンの新植、呉市産農産物のPR 課題：農業者の収益増加につながる更なる取組
農業生産基盤の整備・保全	実績：農村環境の維持・保全に取り組む集落が1つ増加 有害鳥獣対策事業により被害額がほぼ横ばい 課題：農村環境維持・保全に取り組む団体の維持・育成 有害鳥獣被害の抑制

水産業

漁業経営体の確保・育成・強化	実績：9人の新規就業者の確保と着業支援 漁船保険等の加入促進による経営の安定化 課題：漁業所得の向上や担い手の確保につながる取組
水産物のブランド化・販路拡大	実績：カキ、オニオコゼ等の認知度向上 呉水産祭りの開催による魚食の普及促進 課題：呉市産水産物のブランド化と普及、販路の拡大
漁業生産基盤の整備・保全	実績：目標どおりの種苗放流 [※] による一部魚種の漁獲量回復 計画的な魚礁の設置、海底堆積物の除去等 課題：藻場造成、魚礁設置や貧栄養対策による漁場環境の改善

※種苗放流：人工的に生産または天然で採取した水産動物の稚魚等を放流して、その水域の資源を増強しようとする取組

3 実施計画【農業振興部門】

(1) 農業経営体の確保・育成・強化

○赤字は見直しに伴う新規施策

ア 多様な担い手の確保・育成

新規就農者の育成を図るため、就農前から就農後に至るまでのきめ細やかな支援を行います。また、認定農業者や農業参入企業、定年退職者、**半農半X[※]実践者**など多様な担い手を引き続き育成します。

方向性・施策

- UIJターン希望者への情報発信(ホームページ・SNS等)
- 県果樹農業振興対策センター等での研修による技術習得
- 施設、機械整備への助成や早期自立経営の支援
- 農業参入企業等支援事業**や栽培実習による多様な担い手の育成

イ 農業経営の安定化

農業経営の安定化を図るため、収益性の高い品目の導入・転換や、保冷庫等を活用した高値が付く時期での出荷調整、周年栽培等による安定的な農作物の生産振興を目指します。

方向性・施策

- フルーツアイランド事業**を活用し、レモンやいしじなど1年を通して高収益が得られる果樹の導入・転換
- 主食用米から酒造りに適した米など収益性の高い品目への転換
- 高値時期での出荷が可能となる設備等の導入

ウ 農地集積の推進

人・農地プランの実質化や農地中間管理事業等を活用して、新規就農者や認定農業者などの担い手へ農地集積を図り、農地の効率的な利用を促進します。

方向性・施策

- 地域農業の実態、農地の利用状況等の把握
- 各地域での人・農地プランの実質化に向けた取組
- 農地中間管理事業、農地利用集積促進事業の活用

エ スマート農業の推進

AIやIoTなどの先端技術を活用し、データを可視化して生産量や品質の向上と省力化及び労働環境の改善を推進することで、**担い手の規模拡大や新規就農の確保につなげます。**

方向性・施策

- 情報収集と呉市の生産現場で活用できるスマート農業技術の見極め
- スマート農業導入時の各種支援
- 高品質・高収量の農家の各種データを産地で分析・共有

※半農半X：農業と他の仕事(X[エックス])を組み合わせた働き方。農のある暮らしをしながら、大好きな仕事や大切だと思うことをすることで、精神的に満たされる暮らし方

(2) 農産物のブランド化・販路拡大

ア 産地育成・農産物のブランド化の推進

地域の特性及び消費者ニーズに対応した産地の育成・農産物のブランド化に向けた取組や、6次産業化・農工商連携の取組を推進し、農業者の所得向上及び地域農業の活性化を図ります。

方向性・施策

- 品質管理の徹底や1年を通して高収益が得られる柑橘の導入・転換
- 広甘藍など特徴ある野菜の品質管理の徹底・生産量の確保
- 新たな農産物の生産振興と品質管理の徹底によるブランド化**
- 産学官等と連携した6次産業化・農工商連携の推進

イ 農産物のPR推進・販路拡大支援

農業者、農協、地域の商工業者が連携し、アンテナショップ、インターネットなど多様な販売チャンネルを活用したPRや販路の開拓・拡大を図り、販売体制の強化に努めます。

方向性・施策

- ガイドマップやSNS等の活用による効果的なPRの実施
- 東京都や広島市のアンテナショップへの積極的な出店等
- オンラインマルシェや、ふるさと納税等への出品支援**

ウ 地産地消の推進

産直市開催の推進、学校給食への食材提供、**市内事業者の食材利用の取組**を行うとともに、安全・安心な農作物栽培の推進により、更なる地産地消の推進と地域経済の活性化につなげます。

方向性・施策

- 産直市出荷者への栽培講座の実施、催事マルシェの開催
- 学校給食に提供する農産物の生産振興、**ジビエの利用拡大**
- 市内飲食店等のニーズ調査、生産振興、流通方法の研究**
- 有機農業・特別栽培農産物などの推進、食育等を通じた啓発**

(3) 農業生産基盤の整備・保全

ア 農業生産基盤の整備・保全

生産性の向上や大規模経営への転換等を目的として、農地や農道等の農業生産基盤の整備・保全を推進します。

方向性・施策

- 農地集積の状況や地域の意向調査により基盤整備の可能性を検討
- 農地中間管理機構関連農地整備事業等を活用した基盤整備の実施
- 農道施設の定期点検・整備工事による長寿命化・強靱化の実施**

イ 農業用ため池の適正な管理

農業用ため池の決壊等による人的被害の未然防止や下流域の被害が最小となるよう、県が策定した方針等に基づき、**県・市が一体となった防災・減災対策を継続して実施します。**

方向性・施策

- 住民の迅速な避難行動の誘導に向けたハザードマップ等の作成・公表等
- 利用や管理の実態把握**
- 劣化状況評価の実施と防災工事（補強・廃止）の促進**

ウ 農村環境の保全

水源のかん養・景観の形成など多面的な機能を有している農村を維持し、次の世代に継承していくため、優良農地の保全や遊休農地の再生を図り、農村環境の保全に努めます。

方向性・施策

- 中山間地域等直接支払事業や農村環境保全事業を活用し、集落組織で取り組む農道・水路等の維持管理により農村環境を保全
- 遊休農地再生支援事業の活用による遊休農地の再生**

エ 有害鳥獣対策の充実

有害鳥獣から農地を守り、農作物被害を減少させるため、「捕獲」「防御」「広報・啓発」「調査・研究」の四つの事業を継続して行うとともに、地域ぐるみでの取組を強化するなど、効果的な施策展開を図ります。

方向性・施策

- 捕獲報償金制度や狩猟免許取得助成・箱わな等の貸出し
- 防護柵等資材購入助成事業や大規模防護柵貸与事業の継続実施
- 市政だより、出前トーク等を活用した有害鳥獣対策の広報
- 大学等や事業者の研究・技術を活用した対策の検討

オ 農業振興施設の活用

老朽化が進んでいる**グリーンヒル郷原の改修・整備について検討を進めます。**また、各農業振興施設において、市民に農業との触れ合いの場を提供します。

方向性・施策

- グリーンヒル郷原の在り方を検討した上で、改修・整備を実施**
- 適切な維持管理と市民や時代のニーズに沿った施設の充実
- 農業体験イベントや市民農園により、農業との触れ合いの場を創出**

4 実施計画【水産振興部門】

(1) 漁業経営体の確保・育成・強化

○赤字は見直しに伴う新規施策

ア 多様な担い手の確保・育成

減少傾向にある漁業従事者を確保するため、新規漁業者に対する研修・育成や定住支援に取り組みます。
また、養殖など多角的な経営を試みる生産者を支援します。

方向性・施策

○新規漁業就業者の着業・定着の支援や定住・移住支援策の検討
○海藻類など新たな養殖や販売促進支援
○定年退職者等の研修や受入体制の整備

イ 漁業経営の安定化

漁船保険・漁業共済等の支援事業により漁業経営の安定化を図るとともに、漁業振興資金貸付等による効率的かつ安定的な漁業経営の確立を目指します。

方向性・施策

○漁船保険制度の新規漁業者等への支援体制再構築の検討
○安定した漁業経営基盤強化に向けた漁業共済への加入促進
○漁業融資制度の周知

ウ スマート水産業の推進

生産量や品質の向上及び作業の効率化が見込めるスマート水産業の導入を漁業者に促します。

方向性・施策

○情報収集を行い、本市に適した技術の調査・研究
○漁業者への情報提供
○支援機関などと協力し、人材や制度の発掘

(2) 水産物のブランド化・販路拡大

ア 産地育成・水産物のブランド化の推進

カキなどの品目について産地として持続していけるよう、産地ブランドの確立に向けた取組を行い、安定的かつ効率的な流通体制を構築します。

方向性・施策

○漁協や担い手グループが連携した共同集出荷体制の構築等
○産学官の支援機関と連携した6次産業化などへの取組
○カキ、タチウオ、チリメン等に次ぐ新ブランドの検討

イ 水産物のPR推進、販路拡大支援

カキや地域の特色ある魚介類を積極的にPRし、販売を促進します。また、観光業など他産業と連携した6次産業化等の取組を行います。

方向性・施策

○ガイドマップの作成、インターネットの活用
○水産祭り、水産教室の開催、漁業体験ツアー等の開催
○水産エコラベル※認証の情報収集、漁業者への情報提供

ウ 地産地消の推進

地域の魚食文化の継承や食育、市内事業者の呉市産農産物の利用を推進し、消費の拡大を図ります。

方向性・施策

○産地直売体制の構築
○学校給食への食材供給の検討
○市内飲食店等のニーズ調査、生産振興、流通方法の研究

(3) 漁業生産基盤の整備・保全

ア 水産資源の確保・増大

オニオコゼやキジハタなど地先に定着して単価が高い魚種や消費者ニーズの高い魚種の放流を進め、漁業資源の維持・増大と漁業生産額の確保・増大を目指します。

方向性・施策

○消費者ニーズや高価格魚に対応した計画的な種苗放流の推進
○地域に適した放流魚種や手法の検討
○最適放流技術・中間育成技術の向上

イ 魚場環境の整備・保全

藻場の造成を継続するとともに**貧栄養化対策について検討**し、総合的な海域の資源管理を図ります。

方向性・施策

○藻場の造成
○海底堆積物除去・海底耕うんなど魚場保全事業の実施
○下水処理場季節別運転管理など**貧栄養化対策の検討**

※水産エコラベル:水産資源や生態系などの環境にやさしい方法で行われている漁業や養殖業を認証する仕組み